

## 2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	RILEM 小委員会		主 査 名：野口貴文 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会		委員長名：早川光敬
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的：RILEM における活動に対する情報収集を行い、建築材料および試験方法に関する国際的な研究動向を把握し、国内の研究者・技術者に周知することによって、我が国の当該分野の研究の発展に寄与するとともに、RILEM を通じて日本建築学会の研究活動を国際的に伝達・普及するための活動を行う。</p> <p>活動計画 初年度：RILEM Week および RILEM TAC、DAC および総会などに出席し、情報収集を行い会員に紹介するとともに、RILEM を通じて日本建築学会の活動を世界に発信する。また、RILEMTC-FRS “Fire Resistance of Concrete Structures Repaired with Polymer Cement Mortar” の設置準備を行う。 2 年度：TC 活動を展開する。 3 年度：同上 4 年度：同上</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：</p> <p>主査：野口貴文 (東京大学)，幹事：今本啓一 (東京理科大学)，委員：石川嘉崇 (電源開発)，兼松学 (東京理科大学)，閑田徹志 (鹿島建設)，下澤和幸 (日本建築総合試験所) 白井篤 (東京家政学院大学)，道正泰弘 (名城大学)，中島史郎 (建築研究所)，西脇智也 (東北大学)，濱崎仁 (芝浦工業大学)，細川佳史 (太平洋セメント)，三橋博三 (東北大学)，武藤正樹 (建築研究所)，本橋健司 (芝浦工業大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	RILEM TC-FRS “Fire resistance of concrete structures repaired with polymer cement mortar” 国内対応 WG：日本主導 TC を設置するための準備を行う。		
2015 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/zairyous3/">http://news-sv.aij.or.jp/zairyous3/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画および WG を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. 「ポリマーセメントモルタルを用いて補修された RC 部材の耐火性に関する技術の現状」の第一次原稿を作成することができ、RILEM に設置した TC-FRS に番号が付与された。</p> <p>2. 総会に出席し、TAC および DAC に関する情報を収集した。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	特になし